

問1 生活必需品などの消費税率を低く抑えることで、所得の低い人の負担を減らそうとする制度を何という？

1. 免税制度 2. 軽減税率 3. 標準税率 4. 非課税制度

問2 困窮した人に対して、国が最低限度の生活を保障し、自立を助ける制度を何という？

1. 社会福祉サービス 2. 社会保険 3. 公衆衛生 4. 公的扶助

問3 日本国憲法第30条において、国民が法律の定めるところにより負うこととされている、税金を納める義務を何という？

1. 勤労の義務 2. 教育の義務 3. 参政の権利 4. 納税の義務

問4 伝染病の発生や蔓延を防ぐために定められた、保健・医療に関する重要な法律を何という？

1. 感染症法 2. 精神保健福祉法 3. 障害者総合支援法 4. 児童福祉法

問5 企業が経済活動で得た利益に対して課される税金を何という？

1. 法人税 2. 相続税 3. 贈与税 4. 所得税

問6 所得が増えるほど税率が高くなる累進課税が、最も代表的に採用されている税金は？

1. 消費税 2. 所得税 3. 法人税 4. 相続税

問7 国の税収などが不足する際に、国が発行して資金を調達する証書を何という？

1. 個人向け国債 2. 地方債 3. 社債 4. 国債

問8 生活に困窮する人が自立できるように、国や自治体が最低限の生活を保障する制度を何という？

1. 児童手当 2. 生活保護 3. 身体障害者福祉 4. 老人福祉

問9 現役世代が納めた保険料を、その時の高齢者の年金給付に充てる方式を何という？

1. 賦課方式 2. 完全積立方式 3. 積立方式 4. 部分積立方式

問10 公的年金制度において、老後の生活を支えるための保険を何という？

1. 労働者災害補償保険 2. 医療保険 3. 年金保険 4. 雇用保険

問11 社会保険を運営するために投入される、税金から支出される費用のことを何という？

1. 公費 2. 寄付金 3. 保険料 4. 自己負担

問12 介護保険の財源は、利用者の負担と保険料のほかに、国や自治体からの何によって賄われているか？

1. 利用者負担 2. 公費 3. 寄付金 4. 保険料

問13 国の歳入が歳出に足りないとき、国が資金を借り入れるために発行する証書を何という？

1. 地方債 2. 公債 3. 社債 4. 借入金

問14 国の歳出のうち、過去の借金の返済や利子の支払いのためにあてられるお金を何という？

1. 公債金 2. 印紙収入 3. 税外収入 4. 繰越金

問15 財政の機能として、高所得者から集めた税を低所得者の支援に回すことで、所得の格差を縮小させるはたらきを何という？

1. 貨幣の供給 2. 景気の調整 3. 資源の配分 4. 所得の再分配

答え合わせ・解説

問1	答え 2 軽減税率	軽減税率は、特定の品目（食料品や新聞など）について、通常の税率よりも低い税率を適用する仕組みです。これにより、日々の生活にかかるコストの差を縮めることを目的としています。
問2	答え 4 公的扶助	公的扶助は、税金を財源として行われる制度で、日本では「生活保護」がこれにあたります。資産や能力を最大限に活用してもなお生活できない世帯に対し、食費や住居費などの必要な保護を行います。
問3	答え 4 納税の義務	納税の義務とは、国や地方自治体が行政サービスや社会保障を行うために必要な費用を、国民が分担して負担する義務のことです。憲法第30条にその根拠があり、私たちはこの義務を果たすことで公共の利益に貢献しています。
問4	答え 1 感染症法	正式名称は「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」です。感染症を危険度に応じて分類し、発生時の報告義務、患者の入院勧告や措置、予防ワクチンの接種、検疫などの対応を定めています。個人の権利を守りつつ、社会全体の安全を確保する目的があります。
問5	答え 1 法人税	法人税は、会社などの「法人」が納める義務を持つ税金です。個人の所得税とは異なり、企業の純利益に対して税率が計算されます。
問6	答え 2 所得税	所得税は、個人の年間の所得に対してかかる税金です。日本においては、所得が高い人ほど高い税率が適用される累進課税を採用しており、これにより税金の負担を公平に分かち合おうとしています。
問7	答え 4 国債	国債は「国が発行する借用書」であり、購入した国民や企業に対して将来的に利子を支払い、期限が来たら元本を返済することを約束するものです。これにより国は多額の資金を一度に調達できます。
問8	答え 2 生活保護	この制度は、収入が一定の基準に満たない世帯に対して、不足分を税金から補い、衣食住などの生活費や医療費、住宅費などを援助する仕組みです。利用者の資産や能力を最大限活用した上で、不足分を補うという原則があります。
問9	答え 1 賦課方式	賦課方式は、現役世代が納める保険料を、その時々々に年金を受け取っている高齢者の給付に直接充てる仕組みです。これにより、世代を超えた「支え合い」が可能になります。
問10	答え 3 年金保険	年金保険は、社会保険の代表的な制度の一つです。現役世代が保険料を積み立て、高齢になった際や障がいを負った際、遺族となった際に給付を受けることで、生活の安定を図ります。日本の公的年金制度は、すべての国民が加入する国民年金と、会社員や公務員が加入する厚生年金の二階建て構造になっています。
問11	答え 1 公費	公費は、国や地方自治体の税金から社会保障の財源として投入される資金を指します。これによって保険料の負担を抑えつつ、制度を維持することが可能になります。特に高齢者の医療費や基礎年金の支払いには、この公費が欠かせない役割を担っています。
問12	答え 2 公費	介護保険の運営費は、40歳以上の国民が納める保険料と、税金である公費が約半分ずつ出し合われる仕組みです。この公費が加わることで、保険料負担を抑えつつ、質の高いサービスを安定的に供給することが可能になっています。
問13	答え 2 公債	公債は、国が発行して民間から資金を借り入れるための債券であり、投資家が購入することで国に資金が提供されます。主に、インフラ整備等のための建設国債と、税収不足を補う特例国債に分けられます。
問14	答え 1 公債金	歳出は大きく分けると、政策に使う「政策的経費」と、国債を返済するための「公債費（公債金）」に分類されます。公債金は、過去の支出のために借りたお金を返すための義務的な支出であり、政策の優先順位とは別に毎年確保しなければなりません。
問15	答え 4 所得の再分配	累進課税によって所得の高い人から多くの税を集め、それを社会保障や生活保護などの福祉政策を通じて、所得の低い人や高齢者、障害者などの支援に充てます。これにより、社会全体の所得格差を緩やかに是正する役割を果たしています。